貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	954,033,770	962,749,478	△8,715,708
未収収益	683,563,863	688,565,873	△5,002,010
前払費用	10,000	54,147	△44,147
立替金	1,238,566	1,553,448	△314,882
求償権	8,616,030,783	9,274,013,233	△657,982,450
求償権償却引当金	△7,935,111,952	△8,762,115,703	827,003,751
流動資産合計	2,319,765,030	2,164,820,476	154,944,554
2. 固定資産			
(1) 特定資産	28,361,279,000	27,263,451,000	1,097,828,000
再保証等寄託金見合投資有価証券	11,005,840,000	11,005,840,000	0
繰入金見合投資有価証券	17,300,000,000	16,200,000,000	1,100,000,000
退職給付引当預金	55,439,000	57,611,000	△2,172,000
(2) その他固定資産	37,805,537,079	35,309,804,843	2,495,732,236
建物附属設備	373,925	506,655	△132,730
什器備品	995,356	1,368,794	△373,438
リース資産	9,021,460	11,962,063	△2,940,603
ソフトウェア	10,681,338	13,023,331	△2,341,993
投資有価証券	37,784,465,000	35,282,944,000	2,501,521,000
固定資産合計	66,166,816,079	62,573,255,843	3,593,560,236
3. 保証債務見返			
再保証債務見返	4,871,655,694,177	4,607,627,311,110	264,028,383,067
直接保証債務見返	85,295,854	123,759,096	△38,463,242
保証債務見返合計	4,871,740,990,031	4,607,751,070,206	263,989,919,825
資産合計	4,940,227,571,140	4,672,489,146,525	267,738,424,615

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未経過保証料	343,652	877,846	△534,194
預り金	2,559,123	2,285,362	273,761
未払金	6,792,100	9,657,600	△2,865,500
未払費用	27,235,605	26,328,417	907,188
リース債務	2,720,788	2,648,175	72,613
流動負債合計	39,651,268	41,797,400	△2,146,132
2. 固定負債			
再保証等寄託金	11,005,840,000	11,005,840,000	0
長期リース債務	5,667,438	8,388,226	△2,720,788
保証責任準備金	29,185,450,495	27,598,092,727	1,587,357,768
退職給付引当金	55,439,000	57,611,000	△2,172,000
固定負債合計	40,252,396,933	38,669,931,953	1,582,464,980
3. 保証債務			
再保証債務	4,871,655,694,177	4,607,627,311,110	264,028,383,067
直接保証債務	85,295,854	123,759,096	△38,463,242
保証債務合計	4,871,740,990,031	4,607,751,070,206	263,989,919,825
負債合計	4,912,033,038,232	4,646,462,799,559	265,570,238,673
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	28,194,532,908	26,026,346,966	2,168,185,942
(うち特定資産への充当額)	(17,300,000,000)	(16,200,000,000)	(1,100,000,000)
正味財産合計	28,194,532,908	26,026,346,966	2,168,185,942
負債及び正味財産合計	4,940,227,571,140	4,672,489,146,525	267,738,424,615

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産等運用益	650,613,737	662,728,324	△12,114,587
預金利息	15,049	15,936	△887
有価証券利息配当	650,598,688	662,712,388	△12,113,700
② 事業収益	3,677,422,128	3,748,668,409	△71,246,281
保証料	3,520,199,418	3,590,943,970	△70,744,552
求償権利息等	124,189,480	120,601,588	3,587,892
償却求償権取立益	33,033,230	37,122,851	△4,089,621
③ その他収益	827,053,049	624,890,597	202,162,452
求償権償却引当金戻入	827,003,751	624,839,366	202,164,385
雑収益	49,298	51,231	△1,933
経常収益計	5,155,088,914	5,036,287,330	118,801,584
(2) 経常費用			
① 事業費	2,828,317,448	2,249,818,281	578,499,167
求償権償却費	792,712,988	827,654,222	△34,941,234
求償権免除損	10,501,190	30,698,455	△20,197,265
保証責任準備金繰入	1,587,357,768	885,579,467	701,778,301
求償権回収助成費	212,337,619	215,977,667	△3,640,048
役員報酬	9,052,670	9,052,670	0
給料手当	98,293,453	95,410,240	2,883,213
退職給付費用	7,017,600	7,853,633	△836,033
福利厚生費	16,310,036	15,444,633	865,403
システム保守費	42,043,950	103,599,353	△61,555,403
印刷製本費	559,788	500,181	59,607
事務委託費	0	4,536	△4,536
信用調査費	1,013,475	982,053	31,422
会議費	399,267	489,104	△89,837
旅費交通費	7,213,023	7,677,588	△464,565
事業推進費	3,684,282	3,821,989	△137,707
通信運搬費	4,325,523	5,034,975	△709,452
減価償却費	6,554,618	9,673,815	△3,119,197
消耗品費	303,982	468,856	△164,874
光熱水料費	130,807	157,636	△26,829
建物賃借料	21,113,532	21,641,364	△527,832
事務用機器賃借料	1,221,975	1,718,966	△496,991
保険料	496,680	504,600	△7,920
図書費	109,580	183,751	△74,171
倉庫保管料	573,642	748,527	△174,885
支払負担金	4,990,000	4,940,000	50,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	158,585,524	158,870,792	△285,268
役員報酬	6,876,330	7,087,830	△211,500
給料手当	21,562,036	18,240,625	3,321,411
退職給付費用	3,196,100	3,170,767	25,333
福利厚生費	5,504,237	4,739,819	764,418
印刷製本費	292,272	263,914	28,358
会議費	3,933,364	4,240,464	△307,100
旅費交通費	2,757,434	4,538,098	△1,780,664
通信運搬費	1,982,864	1,942,986	39,878
減価償却費	300,970	304,457	△3,487
消耗品費	114,536	217,285	△102,749
建物賃借料	5,278,380	4,750,548	527,832
事務用機器賃借料	109,509	264,194	△154,685
諸謝金	4,289,544	4,274,856	14,688
図書費	334,473	348,647	△14,174
倉庫保管料	143,412	164,312	△20,900
支払利息	302,625	464,509	△161,884
支払手数料	666,244	2,262,816	△1,596,572
支払負担金	40,000	40,000	0
租税公課	99,573,103	100,039,481	△466,378
交際費	110,152	74,978	35,174
雑費	1,217,939	1,440,206	△222,267
經常費用計	2,986,902,972	2,408,689,073	578,213,899
当期經常増減額	2,168,185,942	2,627,598,257	△459,412,315
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,168,185,942	2,627,598,257	△459,412,315
一般正味財産期首残高	26,026,346,966	23,398,748,709	2,627,598,257
一般正味財産期末残高	28,194,532,908	26,026,346,966	2,168,185,942
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	28,194,532,908	26,026,346,966	2,168,185,942

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

「公益法人会計基準」を採用している。

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的有価証券：償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

a 建物附属設備

平成 27 年度以前に取得した物件は定率法により、平成 28 年度以後の取得物件は定額法によっている。

b 什器備品

定率法によっている。

c リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち重要性が乏しいリース物件を除き、リース期間定額法によっている。

d ソフトウェア

利用可能期間(5年)に基づく定額法によっている。

(3) 引当金および準備金の計上基準

a 保証責任準備金

債務保証にかかる損失に備えて、期末における保証残高(再保証事業については再保証残高)から下記のみなし求償権対象案件の再保証残高の 50%(のみなし求償権対象再保証残高)を控除した額に対し損失発生見込額を計上している。

・のみなし求償権対象案件の再保証残高

「中小企業金融円滑化法」の趣旨に基づき再保証条件変更等を実施した案件にかかる再保証残高。

平成 30 年度末残高	14,998,481,819 円
-------------	------------------

うちのみなし求償権対象再保証残高	7,499,240,910 円
------------------	-----------------

b 求償権償却引当金

求償権および下記のみなし求償権(のみなし求償権対象再保証残高の 50%)の回収不能による損失に備えるため、それぞれの期末残高に対し、求償権の回収実績による回収の可能性を勘案した回収不能見込額を計上している。

のみなし求償権対象再保証残高	7,499,240,910 円
----------------	-----------------

うちのみなし求償権残高	3,749,620,455 円
-------------	-----------------

c 退職給付引当金

役職員の退任慰労金・退職金支払いに備えるため、役員については内規に基づく年度末時点の要支給額を、職員については年度末時点の退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 会計方針の変更

変更なし。

4 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
特定資産計	27,263,451,000	1,110,213,700	12,385,700	28,361,279,000
再保証等寄託金見合投資有価証券	11,005,840,000	0	0	11,005,840,000
繰入金見合投資有価証券	16,200,000,000	1,100,000,000	0	17,300,000,000
退職給付引当預金	57,611,000	10,213,700	12,385,700	55,439,000

5 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産計	—	(—)	(—)	(—)
特定資産計	28,361,279,000	(—)	(17,300,000,000)	(11,061,279,000)
再保証等寄託金見合投資有価証券	11,005,840,000	(—)	(—)	(11,005,840,000)
繰入金見合投資有価証券	17,300,000,000	(—)	(17,300,000,000)	(—)
退職給付引当預金	55,439,000	(—)	(—)	(55,439,000)

6 担保に供している資産

担保に提供している資産はない。

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	17,579,115	17,205,190	373,925
什器備品	15,945,127	14,949,771	995,356
リース資産	14,703,012	5,681,552	9,021,460
ソフトウェア	17,399,691	6,718,353	10,681,338
計	65,626,945	44,554,866	21,072,079

8 保証債務等の偶発債務

貸借対照表に表示している保証債務以外の偶発債務はない。

9 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価評価額および評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価評価額および評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価評価額	評価損益
国 債	11,388,150,000	12,426,580,000	1,038,430,000
地 方 債	10,898,450,000	11,844,510,000	946,060,000
特別法人債	21,383,936,000	23,578,130,000	2,194,194,000
金 融 債	13,800,000,000	13,830,820,000	30,820,000
社 債	8,619,769,000	9,164,351,600	544,582,600
計	66,090,305,000	70,844,391,600	4,754,086,600

10 一般正味財産の内訳

一般正味財産の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	期中増減	当期末残高
繰 入 金	16,200,000,000	1,100,000,000	17,300,000,000
準 備 金	9,826,346,966	1,068,185,942	10,894,532,908
計	26,026,346,966	2,168,185,942	28,194,532,908

11 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

12 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

以上

附属明細書

1 基本財産および特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおり。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
求償権償却引当金	8,762,115,703	7,935,111,952	0	8,762,115,703	7,935,111,952
保証責任準備金	27,598,092,727	1,587,357,768	0	0	29,185,450,495
退職給付引当金	57,611,000	10,213,700	12,385,700	0	55,439,000

- (注) 1 求償権償却引当金の当期減少額 その他金額は、洗替えによる取崩しによるもの。
- 2 求償権償却引当金には以下のみなし求償権にかかる引当金額を含む。
- ・「中小企業金融円滑化法」の趣旨に基づき再保証条件変更を実施した案件残高の25%を求償権とみなし、所定の求償権償却引当率を乗じて算出した金額。
- 3 保証責任準備金は、以下のみなし求償権にかかる再保証残高に対する保証責任準備金相当額を控除している。
- ・「中小企業金融円滑化法」の趣旨に基づき再保証条件変更を実施した案件残高の50%に対し、所定の準備金率を乗じて算出した金額。

以上